

3. 東冷蔵庫棟の移転建替え

(1) 事業の目的や施設概要等

①事業の目的

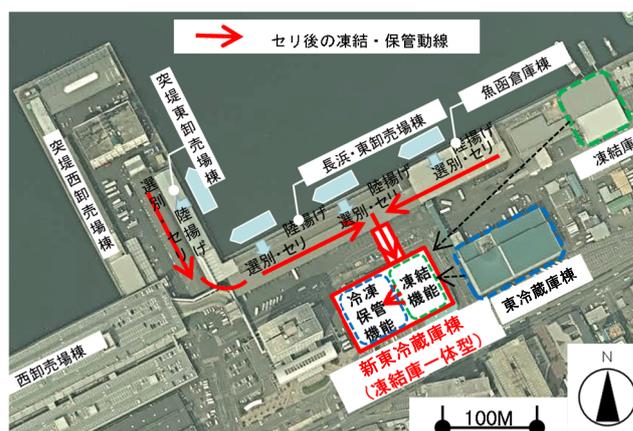
水産物の品質管理の向上や消費拡大を図り、集荷力を向上し安定した市場運営に繋げることで、魚価の安定や向上を実現し、地域水産業に貢献することを目的として、高度衛生の本格開始と冷蔵施設の更新期を捉え、今後の市場ニーズに対応できる冷蔵・冷凍施設の再整備に取り組む。

②今後の市場のニーズへの対応

- ・ 冷凍需要に対応した保管容量の充実
- ・ 食中毒（アニサキス）対策や多品種・多用途に対応した食用凍結事業の充実
- ・ 小ロットで多品種の商品保管に対応した、細やかで効率的な出荷調整を可能とする保管形式や温度帯の充実

③新たに整備する施設の概要【方針】

- ・ 延床面積 約 13,000 m² (2 階建)
- ・ 冷蔵庫と凍結庫の一体型複合施設
→ 市場内物流の効率化
- ・ 卸売場と屋根付き通路で接続
→ 衛生管理の高度化
- ・ 保管容量約 4,300 t
→ 電動式移動ラックの採用
→ 保管容量の増加 (約 1.6 倍)
- ・ 保管温度帯の増設 (2 種類 → 3 種類)
- ・ 生食用の急速冷凍施設を新たに整備
- ・ 環境に配慮した自然冷媒の採用 など



(2) 事業スキーム

①事業主体

- ・ 福岡冷蔵株式会社 (市場内の冷蔵・冷凍事業を行う第 1 種関連事業者。卸売業者と仲卸組合が出資し、昭和 47 年に設立。)

②事業費

- ・ 約 42 億円
- ・ 強い農業づくり総合支援交付金 (補助率 1/3) を活用の上、残りの 1/2 を市が補助する。

③事業スケジュール (予定)

- 令和 4 年度 実施設計、工事着手
- 令和 5 年度 工事
- 令和 6 年度 工事、夏頃の開業予定

4. 市場活性化の取り組み

○魚食普及を通じた『長浜ブランドの構築・市場活力の維持』を目標に、都心に近接した立地や市場直結の強みを活かした活性化施設の整備等に向け、市場関係者と連携し、検討を進めている。

(1) 先行事業（民有地中心に業界主体で事業化を検討）

- ・多種多様な魚種を扱う本市場の特性や、市場直結の強みを活かし、気軽に新鮮な魚に触れることができる、市民の新たな魚食普及スポットを目指す。



多種多様な魚種

(2) 活性化ゾーン全体（移転後の東冷蔵庫棟の活用方策等、市主体で検討）

①民間アイデア募集（令和3年9月～）

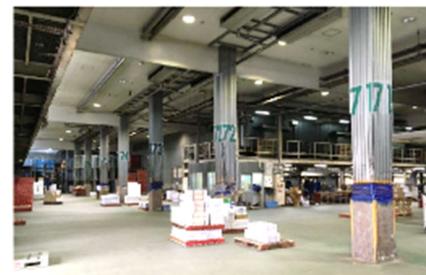
- ・魚食普及や立地特性等を踏まえた活用アイデアや東冷蔵庫棟の利活用の可能性等について、事業実施に意欲のある事業者を対象に公募によりヒアリングを実施。
- ・現時点の参加企業は17社。



活性化ゾーン（全景）

②主な意見

- ・市場に直結した水産物の飲食・物販拠点は、魚の美味しいまち福岡の新たな魅力となる。
- ・市場ならではの飲食、買い物体験など市場関係者との連携が期待できる。
- ・魚だけでなく、魚食普及と相乗効果を生む機能を導入し、集客力を高めることが重要。
- ・建物特性を活かした飲食や物販拠点として、利活用（リノベーション）の可能性は十分あるが、事業実施には改修費に見合う導入機能の検討や、官民の役割分担が必要。



東冷蔵庫棟1階（階高約8m）

(3) 今後の取り組み

○先行事業について

- ・活性化の取り組みの第一弾として、魅力ある施設となるよう、令和5年度中の開業を目指し、市場関係者と連携しながら取り組みを進める。

○活性化ゾーン全体について

- ・冷蔵庫のリノベーションは前例が無く、実現性の検討が必要であり、引き続き、民間活力の導入を視野に、事業に係る条件などヒアリングを進める。
- ・先行事業の具体化、及び東冷蔵庫棟の利活用に関する検討状況を踏まえ、民間事業者のアイデアを参考にしながら、市場関係者との協議を進める。
- ・新東冷蔵庫棟への移転後、速やかに工事等に着手できるよう、事業スキーム等活用方策の検討を進める。